



勝田達也会員撮影

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

- 例会場 L'AUBE kasumigaura  
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F  
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール [t\\_minami@lapis.plala.or.jp](mailto:t_minami@lapis.plala.or.jp)

2024～2025年度  
国際ロータリーテーマ



2024年7月23日 3号  
2024年7月16日 第3例会報告



地区 HP



地区行事予定

1. 点 鐘 完賀浩光会長
2. ロータリーソング斉唱  
(奉仕の理想)
3. 幹事報告 栗野哲雄幹事
4. 委員会報告 (司会進行 吉田正一 S A A)
5. 7月結婚記念日のご紹介 睦活動委員会
6. ニコニコ BOX の発表
7. 2024-2025 年度クラブ協議会
8. 点 鐘 完賀浩光会長

### 本日のプログラム

香取秀総会員の卓話でございます。

### 次週のプログラム

7月30日(火)の例会は休会。18時から、職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕・財団・米山の家庭集会のみさくらガーデンで開催します。  
8月6日(火)の例会は、2023-24年度決算、2024-25年度予算についての全員協議会に続き、中山元章会員増強副委員長の卓話でございます。

### 出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
86	56	6	68.29	10	2・4・6・8 9・11	14	83.33

## 【委員会報告】

### 会員組織委員会

杉 田 一 男 委員長

1 回目の家庭集会を本日 18 時より、「うまい家」さんで開催致します。出席される方は宜しくお願い致します。なお、本日出席できない方は 30 日の 2 回目の家庭集会に出席頂きますようお願い致します。

### ゴルフ同好会

吉 田 正 一 ゴルフ同好会幹事

ご案内の用紙はまだですが、9 月 3 日(水)、霞ヶ浦国際カントリークラブ、8 時 45 分集合で開催致します。白井秀治会員が第 6 分区親睦ゴルフ大会実行委員長ということで、下見を兼ねておりますので、宜しくお願いします。

## 【クラブ協議会】

### 会報委員会

齊 田 克 史 委員長

毎週、会報を皆様に確実にお届けすることが第一ですが、近年のデジタル化に対応した変化も模索しています。

具体的な形ははっきりしていませんが、今年は、その準備期間として考えています。

皆さんにお届けする週報は、最終的に紙一枚に例会の式次第とニコニコなどの箇条書きの部分をメインとして、卓話などの文章の部分は、動画や音声・テキストをネット上から見て頂くような形をイメージしています。

### 公共イメージ・IT 委員会

藤 田 憲 之 委員長

マイロータリーの登録が、現状、29%ということで、これを、是非 100%に近づけたいと思っています。

IT は、費用対効果を考えると、一番、効率が良い方法で、内部の会員に対しては情報の共有、外部に対してはロータリーの活動の広報を行うために大切なものですので、一年間頑張りたいと思っています。

### 会 計

井 坂 雄 祐 委員長

ここ数年、特にコロナ明けに顕在化しつつある収支の健全化について、完賀会長からも、単年度収支で黒字化したいという思いがございいます。なかなか難しい案件ではありますが、五年後・十年後を見据えて、土浦南ロータリークラブの会計を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

### 会場監督

吉 田 正 一 SAA

本年度のニコニコ目標額は 300 万円です。皆さんに良いことがありましたら、積極的にご協力頂き、目標達成を目指したいと思います。

来賓・ご来訪の方を歓迎し、土浦南クラブらしさを感じて頂けるよう心がけます。来賓のご挨拶・卓話の際には、皆さんも私語などを慎むようご協力ください。

## 職業奉仕委員会

勝 田 達 也 委員長

職業奉仕はロータリーの原点ですので、会員各位が職業奉仕について考える機会を提供できるように努めます。職業奉仕は個人とクラブ両方の責務であり、会員が自己の職業を通じて地域社会に奉仕できるように事業を計画します。

- ① 会員その他の優れた職場の見学
- ② 1月の職業奉仕月間に職業奉仕に関する卓話を行う
- ③ 四つのテストの普及・促進に努める

## 社会奉仕委員会

森 浩 一 委員

地域社会密着型奉仕活動を推進し、地域社会に求められる奉仕の実現に努力します。担当委員会と連携を図り、当会と自治体との間に立ち、事業が円滑にできるように推進します。公共イメージ・IT委員会・青少年委員会と連携を深め、社会奉仕活動のPRをします。次年度に向け、地域補助金事業の検討をします。地区補助金を活用し、土浦市との補助事業に取り組みます。

## 人間尊重委員会

森 浩 一 会員（代理）

お年寄りや子供たち、障害のある方々に少しでも、安心・安全な住みよい社会となるように地域社会に努力をしていきます。

障害者主権や学校安全などに関連する団体と連携を図り、共に協力して努力していきます。

## 環境保全委員会

森 浩 一 委員長

生まれ育った土浦を南ロータリーの皆さんと、環境美化活動を率先して実行していきたいと思います。

## 青少年奉仕委員会

高 野 和 彦 委員長

ローターアクト・インターアクトの支援を行います。

予算の減少で企画が難しい状況ではありますが、近年、コロナのため開催できなかった「青少年のための講演会」ですが、東風高校を対象に開催したいと考えています。

## インターアクト委員会

稲 本 修 一 副委員長

昨年度まで、コロナの影響で予定されていた事業が殆ど出来ませんでした。

今年こそは、地区でも台湾への研修旅行、年次大会、学校内での赤い羽根の街頭募金派の参加、青少年のための講演会、インターアクト例会への参加を行い、できるだけ、活動を活発化させていきたいと思います。

## ローターアクト委員会

今 野 和 義 副委員長

昨年度までは、コロナの影響で十分な活動ができませんでしたので、今期は、アクトの会員増強、クラブ活動へのサポート、ロータリアンとの関係強化、インターアクトとの連携強化に尽力したいと思っています。

楠直前会長が地区のローターアクトの委員ですので、情報・アドバイスを聞きながら積極的に活動していきたいと思っています。

## 国際奉仕委員会

君 山 毅 委員長

10月11日から大甲扶輪社訪問があります。創立60周年に向けてキャラバン隊を結成して、しっかりとしたPRをしていきたいと思えます。現在、16名の参加を頂いておりますが、まだ受け付けておりますので、是非ふるってご参加ください。

## ロータリー財団委員会

海老原 一郎 委員長

先週、ロータリー財団の研究会に参加しまして、新しいお知らせがあります。

新設されました、ポリオプラスソサエティへの入会のご案内です。毎年、一人1,000ドルとなります。

11月のロータリー財団月間に財団の報告・説明の会を開催いたします。

財団寄付の推進としまして、ポールハリスソサエティ会員、マルチプルポールハリスフェロー、ポールハリスフェロー、ベネファクターの増加を図ります。

さらに、11月の月間には、年次寄付として、一人、170ドルにポリオプラスが30ドル以上の目標となっておりますので皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

## 米山記念奨学委員会

白 井 秀 治 副委員長

会員の皆さんに米山記念奨学会の目的・意思を深く理解して頂くように努めます。

全会員に特別寄付をお願いし、地区目標を達成するように努力します。

一人当たりの寄付目標を25,000円以上とし、10月の米山月間に周知して、皆さんのご協力をお願いします。

## 【総 括】

完 賀 浩 光 会長

二週にわたりまして、各委員会の目標・計画・抱負を述べて頂きました。

基本的には、極力、例年を踏襲した形でお願いしました。これには、二つの理由がございます。

一つは、本年度は創立60周年という特別な年を迎えます。そちらの様々な役割を多く担わなければならないということがあります。そこで、会員全体のご負担を考えて、特別新しいことはしないような形で皆さんとしっかりと60周年を祝っていききたいということです。

二つ目は、本来ならば5年前に「戦略計画」を各クラブで作成することが必要でしたが、残念ながらまだ作られていません。先日のアンケートを踏まえて、幹事を中心に作成したいと思っております。本来であれば、そのような将来像、向かっていくべき方向をしっかりと決めた中で各委員会の役割があるべきですが、これからクラブが発展していくためにも今年は従前の形でやってみて、戦略計画を作ってから、将来に向かって動いていこうと考えています。

ただし、予算に関しては、削減をさせていただいた委員会が多いと思えます。先程、会計担当からも説明がありましたように、当クラブの財政状況は、よくありません。コロナのため、消化されていない予算が多少積み上がっており、今のところ、その分を使って会を運営しているということが否めない状況です。

ですので、少なくとも、予算の段階では単年度の収支が赤字にならないような、持続可能な予算計画を作りたいとの思いで作りましたので、ご理解を頂きたいと思えます。

## 【家庭集会について】

海 田 恭 敬 ローターリー情報副委員長

例会に引き続きの出席、ご苦労様です。

ロータリーのカレンダーは7月が新年度の始まりで、各委員長さんが例会で一年の抱負を述べていただきました。私も大変、粹に感じまして、一年間、楽しみにしています。会長もおっしゃっていたように、今年は60周年ということで、普段の年度とは違って、一人で二役・三役もこなさなくてはいけないということですので、皆さん頑張ってください。

この家庭集会というのは、「知らないことを知る」ための会です。普段の例会ではS A Aの許可がなければ発言ができません。この会では、日ごろの例会では聞けないような、発言できないような事柄を自由に話して頂き、質問をして頂きたいです。別に無理に結論を出さなくてもよい、そのような会です。

ロータリークラブは「親睦」と「奉仕」の世界です。奉仕だけを行ってもつまらない団体になってしまいます。親睦だけでも老人会のような団体になってしまいます。親睦の第一歩は、まず、クラブへの出席です。出席なくして親睦はありません。人間というものは、顔を合わせれば合わせるほど、親しくなるものです。小・中・高校でもクラスメイトと顔を合わせることで親しくなります。学校へ行くことは、一つは「友達を作る」こと、もう一つが「新しい学問を学ぶ」ということにつながります。

ロータリークラブの場合は「社会奉仕をしたい」という職業人の集まりです。日本ではロータリー会員120万人の一割になる12万人の会員がいました。100周年の時にR Iでは、会員を150万人にしたいという目標を立てましたが、現在、日本の会員は10万人を割って9万人代となってしまいました。2820地区も今から32年前に栃木と分離して2820地区になった時に、「2820人の会員数にしましょう」と目標を立てて、一時は3000人台まで行ったのですが、現在は2000人を割ってしまいました。

しかしながら、最近若い、素晴らしい会員の入会があり、当クラブは将来も安心だと思っています。特に、女性の会員が7名いらっしゃいます。全国の女性会員は7%で、当クラブは8%ということで1ポイント上回っています。もう少し増えて、10人台になると素晴らしいと思います。ここ数年、素晴らしい会員が増えておりますが、60周年に向けて、これからも多くの会員の勧誘が必要です。

「ロータリークラブとは何ですか」と聞かれたら「ロータリークラブは社会奉仕をモットーとする職業人の集まりで、国際的な社交団体です」という定義をこたえられるようにして頂きたいです。

私は、昨年11月28日に卒寿の卓話をさせていただき、祝福をして頂き、大変感謝しております。これから何年、クラブ会員として出席できるかわかりませんが、私も元気な間は、皆さんの仲間として出席したいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

今日も、楽しいひと時となりますよう、願っています。若い方は、なんでも聞いてください。何か一つでもお土産を持って帰って頂きたいです。

家庭集会（会員組織・クラブ管理運営・会場監督）

〈於：うまい家〉

